

知る

共に支え合い 共に輝く 「地域共生社会」

吹田市社協が地区福祉委員会やボランティアグループ、民間福祉施設等と一緒に取り組んでいる「福祉教育」。立場の違う相手を理解し、同じまちで一緒に暮らしていくために、自分自身は何ができるかを考える授業を行っています。

体験
する

考える

年齢や性別、障がいの有無、国籍などに関係なく、お互いに支え合いながら共に生きていく「地域共生社会」。吹田市社協では、吹田のまちに暮らす皆さんがお互いに支え合い、一人ひとりが生きがいや役割を持って生活できるように、さまざまな団体や人と力を合わせながら福祉活動に取り組んでいます。

「地域共生社会」を築いていくための活動を紹介します。

さまざまな力が活きる×さまざまな交流が生まれる みんなで築く「地域共生社会」

学生や福祉事業所職員が活躍「スマホ教室」

スマホの操作に慣れていない高齢者を対象に、地区福祉委員会等と連携して「スマホ教室」を実施しています。スマホの操作に慣れている大学生や高校生、地域に根差して活動している福祉事業所の職員などが、ボランティアとして大活躍！

スマホの操作を教えてもらうだけでなく、参加者とボランティアの交流の機会にもなり、スマホ操作の手を止めて、話に夢中になる参加者の姿も見られました。

高校生からは「耳が聞こえにくい方には大きな声でゆっくり話をすることを心がけた」などの感想もあり、世代を超えてお互いを知り、思いやるきっかけとなっています。



自分のペースで社会とつながる「フリースペース ゆるつな」

吹田市社協が、「不登校ひろば@吹田」の協力を得て開催している「フリースペース ゆるつな」。誰でも気軽に参加でき、一人でゆっくりとゲームをしたり、参加者同士でお話やゲームをするなど、自分に合った過ごし方ができます。

ゲームや本など、自分の好きな物を持ってくることもできる他、会場にはボードゲームやカードゲームなどもあり、初めて会う参加者同士でも、ゲームを通じて楽しく交流する姿が見られました。

ラストスパート! ~5次計画コラム~

吹田市社協の中期計画となる第5次地域福祉活動計画(以下、活動計画)の策定には、地区福祉委員会をはじめ、吹田市社協と共に地域福祉活動に取り組む各団体(のべ80団体、のべ466人)と合計21回に及ぶ懇談会を行い、「地域で感じている困りごと」「吹田市社協に期待すること」について意見を頂きました。

また、地区福祉委員会も同様に各地区で取り組む活動計画を策定しています。社協が取り組むこと、地域が取り組むことが合わさって「第5次地域福祉活動計画」が完成します。

策定もいよいよ大詰めです!



地区
福祉委員会
です

あなたのまちで

「地域のつながりづくり」をつづけています

地区福祉委員会とは、地域のつながりづくりや住民同士の支え合い活動に取り組む住民組織です。市内33の地区福祉委員会が、主に小学校区を単位に活動しています。

高齢者や子育て中の親子が身近な地域で集える居場所づくり等を通じて、同じまちに暮らす住民同士が出会い、顔見知りになることで、地域のつながりが広がっています。

地域検討会の活動が広がっています!

千里新田
地区

千里新田地区では、地区福祉委員会、地域包括支援センター、地域型生活支援コーディネーター、吹田市社協CSWのメンバーで月に一度、地域検討会を行っています。検討会の場で、高齢者に身近な相談機関を知ってほしい、地域の事業所とつながりをつくりたいという意見が出され、「福祉用具展示・体験会」を企画、実施しました。介護用品を扱っている地域の事業所の協力のもと、ふれあい昼食会の参加者を対象にシルバーカーや電動車いすなどを体験していただきました。体験の他、地域包括支援センター職員に介護保険の利用について質問する方もいて、参加者からは「今まで詳しく知らなかったので参考になった」などのお声が挙がっていました。検討会では高齢者の家族にも知ってほしいという意見も出ており、これからの展開に期待です!今後、昨年度作成した「うきうきウォークマップ」を活用したまち歩きも企画しています。



みんなが笑顔「にこにこカフェ」

北山田
地区

北山田地区福祉委員会では、毎月第2木曜日13時30分～16時、北山田地区公民館で誰でも参加できるカフェを開催しています。部屋に入ると、福祉委員の皆さんが笑顔でお出迎え。福祉委員が淹れてくれる愛情たっぷりのコーヒー片手に会話も弾みます。カフェには毎回20人ほどの参加があり、高齢者だけでなく、子育て世代の参加もあるそうです。

「子育て世代など、若い方にもぜひぜひ、参加してほしいです!」と福祉委員の皆さん。多世代が気軽に交流する場。そして、参加者含めみんなが笑顔になれる場。そんな場所が北山田にはあります。



ティーサロンがOPEN

竹見台
地区

竹見台地区の皆さんが気軽に参加できる【ティーサロン】が2024年11月22日にオープンしました。地区福祉委員会は、「まずは地域の方が気軽に来ていただき、竹見台地区にしかないティーサロンを運営していくことが目標です」と話されています。

コーヒーを飲みながら談笑されていた参加者は「普段はひとりで暮らしているので、気軽に行くことのできるサロンがあればうれしいです」と喜ばれていました。

年代を問わずに気軽に参加できるティーサロンが、地域の中でのつながりの場となっています。



吹田市社協からのお知らせ

〒564-0072 吹田市出口町19-2総合福祉会館2階
FAX.....06-6170-5800(共通)
E-mail...suisyakyo@mua.biglobe.ne.jp

- 総務課 TEL06-6339-1205
- 地域福祉課 TEL06-6339-1254
- ボランティアセンター TEL06-6339-1210
- けんりサポートすいた TEL06-4860-6776
- 日常生活自立支援事業担当 TEL06-6339-5700
- くらしサポートセンターすいた TEL06-6384-1350

令和6年度 赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました!

令和6年度も自治会や地区福祉委員会、民生・児童委員協議会をはじめ、多くのみなさまにご支援いただきました。ご協力いただいた募金は、吹田市を含む大阪府内の社会福祉施設、福祉団体の活動、また、地区福祉委員会による地域での支え合い活動に活用されます。

令和6年度
吹田地区募金会実績
合計 9,418,877円

【内訳】	
戸別募金	5,684,569円
街頭募金	1,053,094円
法人募金	1,479,413円
学校募金	144,710円
その他募金	1,057,091円

吹田市社協福祉大会にご参加ありがとうございました。

1月25日(土)、吹田市文化会館メシアター中ホールにて開催しました。

大阪大学大学院人間科学研究科教授 渥美公秀氏による講演や、地域福祉活動功労者の方々への表彰状、ボランティア活動功労者及び、社協への多額の寄付者への感謝状の贈呈を行いました。



令和6年能登半島地震豪雨義援金へのご支援ありがとうございました

令和7年1月31日時点で、計3,514,865円の義援金をお預かりし、石川県共同募金会を通じて被災地にお届けしました。

災害ボランティア事前登録受付中

吹田市社協では、吹田で大規模災害が発生した際に吹田市の要請を受け、災害ボランティアセンターを設置します。事前にボランティア登録していただくことで、効果的な支援を図ることを目的に本制度を設けています。3月1日から令和7年度の申し込みを受け付けます。

(右記二次元コードまたは、FAX、郵送、窓口にて受付。年度更新制。18歳以上の在住・在勤・在学者対象。)



歌体操ボランティア養成講座(5回講座)

歌体操を通して楽しい時間を共有するボランティア活動

◆日時: 令和7年 4月1日(火)、8日(火)、15日(火)、22日(火)、30日(水)
午後1時30分から午後3時30分

◆場所: 総合福祉会館

◆参加費: 無料

◆申込み期間: 令和7年 3月3日(月) から 3月31日(月)

◆定員: 20名

●問い合わせ・申込み: ボランティアセンター



ボランティア活動保険加入受付中

安心してボランティア活動ができるように、ボランティア保険(申し込み翌日から令和8年3月31日まで適用)の加入を窓口にて受付しています。令和7年度分は3月10日(月)から受付します。

●問い合わせ・申込み: ボランティアセンター



福祉ボランティアグループに助成金交付

ボランティア活動に対する助成金交付の申請を受付します。

◆対象: 令和7年3月31日時点でセンター登録をし、登録から1年以上経過している福祉ボランティアグループ。

◆申し込み: 令和7年4月1日(火) から15日(火)

●問い合わせ・申込み: ボランティアセンター

ボランティアセンターまつり

ボランティアについて知っていただくための、活動発表やボランティア体験などを企画しています。見て!体験して!出会う!ボランティア活動の魅力を発見しましょう。

申込みは不要です。どなたでもお気軽にご参加ください。

◆日時: 令和7年3月16日(日) 午後1時から午後4時

◆場所: 総合福祉会館

●問い合わせ: ボランティアセンター



プルタブありがとう!



令和7年1月末日現在、約721kg集まりました。

